

時 期	年間通して	時 間	2時間
難易度	★☆☆	対 象	どなたでも



漁火のつどい キャンプファイヤー（CF）



<活動の概要>

大自然の中で炎を囲み、仲間と過ごすことで、火と人間の関わりについて思いをはせたり、スタンプを楽しみながら友情を深めたりします。大浜海岸での「漁火のつどい」は、若狭湾でしかできない活動の1つです。また、最後に実施することで、研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。

<活動の場所>

大浜海岸、岩の沢野外炊事場、島の越野外炊事場、夕日の広場

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 火と人間との関わりについて思いをはせる。
- 大自然を感じながら、自分を表現したり、自分を見つめ直したりする。
- お互いに理解し合い、協力し合って親睦を深める。
- ルールを守って行動し、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの【場所】	団体（個人）で準備するもの
無線機【事務室】	軍手
女神（火の神）の衣装【事務室】	新聞紙
ワイヤレスアンプ・マイクセット【事務室】	マッチ
延長コード（ドラム式）【事務室】	トーチ棒（使用する場合）
C Dラジカセ【事務室】	
漁火台【ピロティ】	
バケツ【ピロティ】	
鉈（なた）【事務室】	
薪割り台【薪置き場・各野外炊事場】	
火ばさみ【薪置き場・各野外炊事場】	
※灯油【食堂事務室】	
※薪【薪置き場・各野外炊事場】	
※は販売品になりますので、事前に必要数を注文してください。	

手順

事前準備

- 実施にあたり、あらかじめ役割を分担しておくことをおすすめします。

<参加者の役割分担の例>

	エールマスター（司会）	点火・分火係	プログラムリーダー・音響係
主な内容	キャンプファイヤーの司会、進行役を務めます。 【1名～2名程度】	火の神（女神）から分火してもらい、火床に点火します。 【各グループ1名程度】	スタンツを指揮したり、音響操作などをします。 【5名程度】

<指導者の役割分担の例>

	火の神・女神	ファイヤーキーパー	準備・後始末担当
主な内容	トーチを運んだり、点火係に分火をします。 【1名：団体代表者等】	進行を考えながら、火の大きさを調整します。 【1名～2名程度】	実施前の薪など物品の準備、実施後の残灰の後始末など。 【3名程度】

※各団体によって、上記を参考に必要な役割を検討してください。

- トーチを用いて点火をする場合には、各団体で事前に準備してください。

活動前

- 「無線局運用申請書」を事務室まで、提出してください。
- 団体指導者と自然の家との連絡の為、無線を貸し出します。
- 荒天（強風、雨、雷）の場合は実施できないことがあります。その場合には、キャンドルサービスに変更することもあるので、事前にその旨をお伝えください。
- 活動場所に依じて、薪置き場に薪や火ばさみを取りに行き、活動1時間前を目安に準備をしていただくことをおすすめします。
- 薪の量は人数と時間によって異なりますが1つの漁火台で、1.5時間～2時間で6束～8束程度が目安になります。

※プログラムの進行は、事前にご相談いただければ、随時対応させていただきますが、実施については、各団体でお願いしておりますので、ご了承ください。

活動中

- 火の取り扱いには、十分注意して、活動を行ってください。
- 何かご不明な点等があれば、無線を使用して、自然の家事務室と交信をしてください。

活動後

- 薪は燃え残さず、すべて灰にしてから、所定の場所に捨ててください。その後、水で完全に鎮火させてください。捨てる場所は以下の通りです。
 - 【岩の沢】 野外炊事場のペール缶に入れ、屋根の下に置く。
 - 【島の越】 野外炊事場の灰捨て場に置く。
 - 【大浜・夕日の広場】 本館南側にある薪置き場にある、ペール缶に入れ灰置き場へ置く。
- 使用しなかった薪は、ひもをほどいてないものに限り、返却することができます。

※なお、活動時間内で燃え切らない場合には、翌日の朝に灰を捨ててください。

ふりかえりの視点

- 自然の中で五感をはたらかせる中で、どんなことを感じましたか？
自然や火について感じたこと・気づいたことを共有しましょう。
大自然の中で自分のことについて振り返りましょう。
- グループ毎に、協力して活動を進めることができましたか？
活動を通して仲間と協力し理解し合えた点について共有しましょう。
- どんなことに気をつけながら活動を進めましたか？
安全に気をつけることができた点について共有しましょう。

指導上の留意点

- 環境保護の観点から、必ず漁火台を使用して活動してください。
- トーチ棒（各団体で必要に応じて準備）を使用する場合には、火の付け方、持ち方には、事前に各団体から参加者に指導していただくなど、十分注意してください。
- 施設敷地内での花火は禁止しておりますので、ご遠慮ください。

活動場所

岩の沢



岩の沢コンセント



薪置き場



掲揚台コンセント



大浜海岸



ピロティ・漁火台



島の越コンセント



※女子トイレ横にあります

島の越



外灯・コンセント



夕日の広場



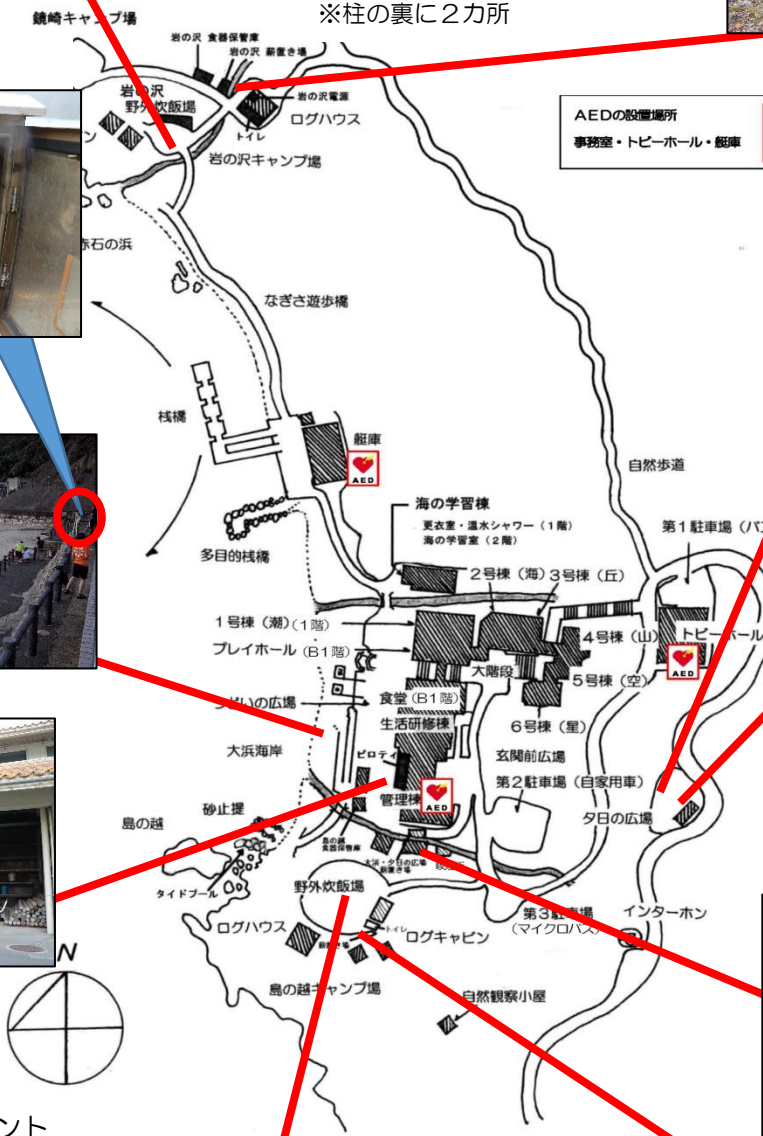
大浜・夕日の広場灰捨て場



薪置き場・灰捨て場



AEDの設置場所
事務室・トビーホール・艦庫



キャンプファイヤーの薪の組み方について

国立若狭湾青少年自然の家



なたで薪を割る。
ポイント：
◆なたを持つ手は素手。
◆木を持つ手には軍手を2重。

薪は、全部で**6束程度**準備します。
2束程度を3種類の太さに割っていく。



割り箸くらいの太さ。



割り箸くらいの太さの半分は、
長さを半分くらいにする。



1〜2センチ角くらいの太さ。



3〜4センチ角くらいの太さ。



ポイント：
◆割りばしくらいの太さの薪は、太い薪2〜3本分で十分です。
◆薪を割るときは、薪割り台を使いましょう。
◆鉋を使わないときは、薪割り台に刺しておくか、早めに片付けましょう。

◆指導者が見えないときに、鉋を使つての怪我が多いです。必ず指導者が見えていてください。



新聞紙を真ん中で折り、チョウチョのようにし、折り、それを2つ重ねて、山を作る。
下を部分を少し割いておくくと火が付きやすくなる。



① かごの下に薪を置いて土台を作る。



② 新聞紙の芯を置く。



③ 短く細い薪から順番に立てる。



④ 時々両手で立てた薪を押し、倒れないようにする。



⑤ トーチを差し込んだり、火を付ける
ポイントは、開けておく。



⑥ 一番外側に太い薪を立てる。
その時に木の表面が外を向いていると見た目がよい。



上から見るとこんな感じに。
火を付けると、
炎がまっすぐ上に上がります。



火の回りに薪を並べ、ゲームなどの際に、ここから入らないゾーンを作るとよい。

